



JFVSS Newsletter

和の心

コロラド州立大学での猫内科学セミナーが終わりホッとするのも束の間、また忙しい診療の日々に戻っています。日本からたくさんの先生方にセミナーに参加していただき本当にありがとうございました。初めての試みということもあり至らない点もあったとは思いますが、今後もセミナーは継続していくみたいなので、CSUの先生達と協力しながらよりよいセミナーになるように改善させていきたいと考えています。来年もたくさんの日本の先生方にコロラドでお会いできるのを楽しみにしています。

日本の先生方からよく聞かれる質問は、やはりアメリカと日本での仕事の仕方の違いですが、これにはいつも答えに困ってしまいます。細かな違いはあるのかもしれませんが、大きな違いを感じた事がないからです。ただ自分は現在大学病院でたくさんの人に囲まれて仕事をしていますので、2つのことはいつも気にかけています。それは「人に迷惑をかけない」と「頼まれたらNoと言わない（表面上はにこやかに）」です。当たり前の事と言えばそうですが、これができてない人も結構周りにいます。アメリカ人は自己主張強いから、どんどん主張したほうがいいんじゃないって思われがちですが、アメリカ人でも「和」を大事にする人が信頼されています。日本人が海外の人から好かれやすいのはそういう事が自然にできてるからかもしれません。飼い主への話方や対応の違いなどもよく聞かれますが、これも正直差はないですね。優柔不断な人もいれば主張が強い飼い主もいます。それぞれの飼い主の考え方や事情を尊重しつつ、動物と飼い主にとってよりよい選択を探していくということに尽きると思います。なんか普通な事を長々と書いちゃいましたが、日本でもアメリカでも獣医の仕事は人間関係に気を使い、動物達に癒されるって感じですね（笑）。



佐藤 雅彦